

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

～今回から週1回、身近な話題を浜にお届けします。今後とも宜しくお願い致します～

平成 25 年度 (第 64 回) 通常総会を開催



去る 6 月 28 日、津市羽所町のホテルグリーンパーク津にて第 64 回通常総会が開催され 24 年度事業報告や 25 年度事業計画など 9 議案が承認されました。

永富洋一漁連会長は、冒頭「消費者の魚離れは顕著で、円安がアキレス腱となって燃油高騰が重くのしかかり、漁業経営は回復にほど遠い。7 月下旬からの TPP 交渉次第では安価な水産物が流入するかもしれない」と危惧する一方、鈴木英敬知事や山本県議会議長が来賓として出席され、鈴木知事は「伊勢まだいの次は伊勢まぐろ。東京にオープンする三重テラスで県の海産物を売り出して行きたい。連携を密にして取り組む」と挨拶されました。



第 14 回赤須賀漁業まつり盛大に！



赤須賀漁協は 7 月 6 日、桑名港で恒例の「漁業まつり」を開きました。ふれあいを通じ漁業に対する市民の関心を高め、地場水産物の消費拡大を図るため毎年開いており、今年で 14 回目。会場では、ハマグリ、シジミの販売やシジミ汁の無料配布などがあり、家族連れらでにぎわいました。振る舞い用にハマグリ 100 キロとシジミ 80 キロを準備。地元の特産物を味わおうと、市内外から訪れた約 1,000 人の家族連れらが列をなし、焼きハマグリは開始 40 分で完売する人気でした。

漁協に隣接する「はまぐりプラザ」食堂ではアサリの炊き込みご飯とハマグリの吸い物の限定メニューを 500 円で販売。また、実際に漁船に乗船してシジミ漁を見学する体験もあり、親子で興味深くシジミ漁を見つめる姿が印象的でした。

大紀町錦小学校 5 年生が漁業体験！



大紀町漁業活性化推進協議会（会長 谷口兄）は 6 月 18 日および 25 日に漁業体験を実施し、地元の錦小学校 5 年生 20 名が参加しました

児童らは、18 日にスライドやパンフレットで「伊勢まだい」について学び、25 日には「伊勢まだい」の漁場見学や餌やり、さばき方などを体験しました。

この機会に漁業に興味を持って、魚を好きになってくれればうれしい限りです。

**セーフティーネット説明会開催（お知らせ）
【7/23（火）13:00～ 於：松阪のりセンター】**

国の施策である漁業経営セーフティーネット構築事業において、最近の燃油価格高騰に伴い、7 月から漁業用燃油緊急特別対策が始まることになりました。この特別対策を漁業者が受けるための諸手続き等について、関係者向けの説明会を、7 月 23 日（火）に松阪のり流通センターで開催いたします。既に開催案内文書を送付しておりますが、漁協関係職員等のご参加をよろしくお願い致します。

「マリンパークくまの灘」が 7 月 15 日にリニューアルオープン！



来る 7 月 15 日（月）海の日に三重外湾漁協直営の釣り堀施設「マリンパークくまの灘」がリニューアルオープンします。

一部、天然魚釣りができるようになり、チヌやアオリイカが狙い目とのこと。

☆一部変更となった料金表

大人（中学生以上）	1 名 5,500 円
女性・子ども（小学生以下）	1 名 3,500 円
入場のみ（中学生以上）	1 名 1,000 円
子ども	1 名 500 円

入場者にはもれなくお土産を進呈します。

☆オープン当日は子どもさんを対象にアジ・マダイ・タコその他の「魚のつかみ取り」を行います。参加無料（先着 50 名）です。

☆皆様お誘い合わせの上、ご来場をお待ちしております。

【主な行事予定】

- 12 日 三重県漁青連役員会（水産会館）
- 20 日 農林漁業就業就職フェア（津市）
- 20 日 県下一斉海浜清掃
- 20 日 三重県漁業士会・漁青連通常総会（松阪市）
- 21 日 参議院選挙

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。